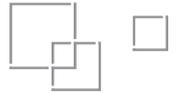
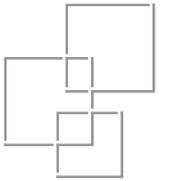


質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。

また、定例会の正式な議事録は、市議会ホームページや市立図書館、議会事務局などで3月中旬からご覧いただけます。



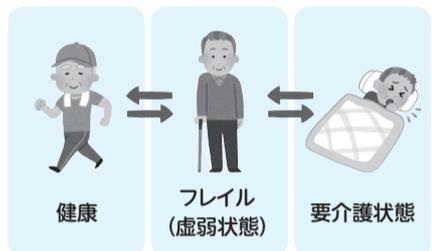
## フレイル予防について



創政クラブ 高木きよし

**議員** 本市における今後のフレイル予防の取り組みについて伺います。

**健康医療部長** 医療や健診履歴のない1人暮らしの方への訪問や、介護予防教室での健康教育を中心に、フレイル予防事業を実施しています。今後は対象範囲を拡大し、関係機関と連携しながら、対策に努めていきたいと考えます。



**議員** 国が推進しているウォーカブル推進都市について伺います。

**企画部長** ウォーカブル推進都市とは、居心地が良く、歩きたくなるまちづくりを目指す政府の方針に賛同し、事業推進を行う自治体を指すものです。

**議員** フレイル予防の推進について、

市長の所見を伺います。

**市長** 高齢者が外へ出て、心も体も、あるいは社会的にも健康でいられるように頑張っていきたいと思えます。

**議員** フレイル予防を考慮した、安全で歩きやすい、魅力的なまちづくりのために、ウォーカブル推進都市へ参加することについて、所見を伺います。

**市長** ウォーカブル推進都市になるのが良いか、別の方法で環境整備を行うのが良いか、検討が必要であると思えます。本市では、駅前の再開発事業の継続により、南一番街をウォーカブルなエリアにすると共に、太田市保健センターを中心とした電線の地中化により、全体的に歩きやすい環境を整備していきたいと考えています。また、各地域に歩きやすい環境をつくるのが非常に大切ですので、国の補助金を活用しながら、歩く人を増やしていきたいと思えます。

### ■その他の質問

・本市の土地改良事業について



## 安全・安心なまちづくりについて



太田クラブ 山田 隆史

**議員** 本市において防犯委員が活動に使用していた青色回転灯付防犯パトロール車、いわゆる青パトが廃止となった理由について伺います。

**総務部長** 本市の防犯委員は、高齢者の方の占める割合が増加しており、総合的な議論の結果、防犯委員活動の安全を第一に考え、令和2年3月をもって、取りやめることが決定されました。

**議員** 青パト活動は、特に小・中学校の登下校時には効果があったと考えますが、その後の対策について伺います。

**総務部長** 子ども見守り防犯パトロール、地域防犯パトロール、高齢者向け防犯啓発活動の3つの活動を軸に行っています。直近3年間の刑法犯認知件数も減少傾向であり、防犯委員の活動がその一翼を担っていると考えます。

**議員** 登下校時の児童・生徒の安全確保を図るための今後の対策を伺います。

**教育部長** 現在、警察OBをスクールガードリーダーとして小学校に派遣しています。

また、子ども安全協力の家の設置や地域住民による見守りボランティアなども行っており、今後も継続、充実させていきたいと考えます。

**議員** 防犯カメラには犯罪抑止効果もあると考えますが、通学路の危険箇所への防犯カメラの設置について、市長の所見を伺います。

**市長** プライバシーが守られないという反対の議論も当然出てくるものであり、非常に難しい問題だと思えます。教育委員会に話をし、学校やPTAの意向を聞きながら、検討していきたいと思えます。



### ■その他の質問

・核シェルターの普及について



## 本市の教育環境の拡充について



創政クラブ 矢部 伸幸

**議員** 市内にはふれあい教室が2カ所ありますが、遠くて通えない児童・生徒がいることから拡充すべきと考えますが、所見を伺います。



**教育部長** 対策として、今年度はスクールバスによる送迎の試運転を始めました。今後は、沢野地区と藪塚地区に出張所の開設を行い、子どもたちの支援に努めたいと考えます。

**議員** いじめに対する教育長の所見を伺います。

**教育部長** いじめは絶対に許されない行為であると、校長が強いリーダーシップを示す必要があると思えます。また、居場所の

ある学級づくりや、SOSを見逃さない組織が必要で。特にSNS等による集団化を防ぐため、保護者と連携しながら、子どもたちの違和感を感じとる力をより一層磨けるよう、指導していきたいと思えます。

**議員** ふれあい教室などの教育の場の拡充について、所見を伺います。

**教育部長** ふれあい教室については、名称を変更し、従来の学校復帰に加え、個人差に応じた能力開発に力を入れ、将来の社会的自立に光を与えられるような支援をしていきたいと思えます。

**議員** 教育施設の拡充について、市長の所見を伺います。

**市長** 給食費や医療費の無料化など、ベーシックサービスにより、教育しやすい環境を整えることが重要だと思えます。保護者の皆さんには、それに応えてもらい、行政や教育委員会と一緒に子どもたちを育てていければと思えます。今後も十分満足いくような教育環境をつくっていききたいと思えます。



## 動物愛護基金の創設について



自然の会 石井 ひろみつ

**議員** 動物愛護団体では、相談があれば猫の捕獲、避妊、去勢を行います。譲渡可能となるまでシェルター等での世話を続けると、医療費だけでも1匹当たり3万円程度が必要となります。また、コロナ禍によるイベントの激減により、資金調達は厳しさを増しています。動物愛護団体が本来の活動に専念できるよう、本市の動物愛護基金の創設を提案しますが、市長の所見を伺います。



**市長** 県が主体となり、リードしていくものだと思いますが、動物愛護団体の人が、市と直結していることは事実です。団体をつくってもらうことで、市として取り組

むことも不可能ではないと思えますので、そういった体制を整えていくことが大事だと思えます。

**議員** 本市に拠点を置く動物愛護団体はなく、個人のボランティアとして活動している人が多いのが現状です。そういった人々を集めて、本市に拠点を置くボランティア団体をつくりたいと思えます。団体の活動には、資金面での援助が重要であると思えますが、所見を伺います。

**市長** 本市で個人のボランティアとして活動している人たちが、共通認識のもとに動物愛護団体をつくり、クラウドファンディングなどを活用し、基金を創設してほしいと思えます。本市として、基金に資金投入するかは、これからの議論となりますが、協力していきたいと思えますので、まずはNPOなどの団体を設立してほしいと思えます。

### ■その他の質問

・太田市総合体育館の運用及び周辺整備について